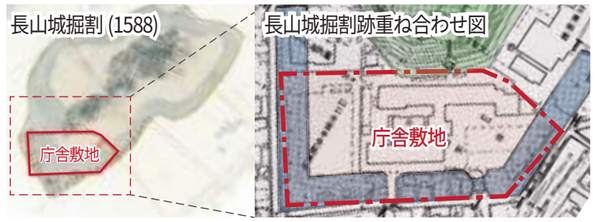
このまちのファンをつくる私たちの庁舎

庁舎はまさに広域観光・文化創造拠点に相応しい、歴史的な背景、自然環境そして立地条件を備えています。その山口らしさを活かし、県外や海外からの観光客等の交流人口、さらには定住人口へと、このまちのファンを生み出していく「私たちの庁舎」を目指します。

庁舎がつなぐまちの観光マップイメージ

亀山の土地の記憶の継承

長山城であった歴史を持つ亀山には、庁舎の敷地境界に沿ってかつてお堀がめぐらされていました。新庁舎を整備するに当たり、現在残っている水路を市民と観光客の交流の場となる親水空間とすることで、土地の記憶を継承した計画とします。



地域の魅力を発信する「けやきラウンジ」

けやきラウンジでは、市の特産品を展示販売できる物販コーナーや特産品を実際に調理し、試食できるキッチンスタジオを設け、山口の魅力をパークロードに向けて発信します。

徳佐りんご

秋穂フルーツトマト

阿知須くりまさる

あとう/阿知須/徳地和牛

山口の特産品を使ったインテリア

徳地和紙や大内塗等、山口市で時代を超えて受け継がれてきた技を活かした特産品をシビックラウンジ等のインテリアに使用します。

和紙ガラス建具の例

大内塗り壁の例

大内人形を使ったサイン計画

市民に末永く愛される植栽計画

菜の花（市の木）、イチョウ（市の木）、サクラ（市の花木）をランドスケープに取り入れることで、パークロードや亀山、一の坂川と連続し、一体感を生む植栽を選定します。

市の木：菜の花

市の木：イチョウ

市の花木：サクラ

地域に根ざし、活かし、愛される「私たちの丘」

「私たちの丘」を特徴づける「けやきラウンジ」「緑の歩廊」「やまぐち広場」そして「シビックステップ」をどのように使うか、どのように使えるかを、関係者や市民の方々とともに考え、アイデアを出し合い、ともに創ることが、山口らしい庁舎づくりにつながると考えます

地場産材の有効活用

豊富な山口産材の木材の利用促進と普及を目指して適材適所に配慮し最適なかたちでの活用を具現化します。

木材の使用箇所		概要	木材の使用箇所		概要
構造	❶歩廊等の架構	木造の採用の検討	内部製作	⑩手摺	階段等の手摺に使用
	❷耐震ブレース	耐火性能が不要な耐震要素に利用		⑪下地材	壁などの下地材に使用
外部	❸木質ルーバー	樹脂に混ぜあわせた耐久性の高い		⑫建具	地元業者による木製建具
	❹木質デッキ	ルーバー材 / デッキ材		⑬家具	地元業者による家具
	❺軒天	雨のかからない軒天に使用		⑭照明器具	木製の照明器具
内部仕上	❻CW 方立	集成材に加工し使用		⑮木製ブース	多目的に活用できるブース
	❼木ｱﾙﾐ複合ｻｯｼ	集成材に加工し使用		⑯サイン	各課表示や室名板サイン
	❽フローリング	圧縮加工した硬度の高いﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ	設備	⑰受水槽	耐震性の高い木製受水槽
	❾天井・壁仕上	準不燃処理を施し使用	※各項目についてはコストバランスを考慮しながら採用を検討します		

❸木質ルーバー

❼木アルミ複合サッシ

⑬家具

⑮木製ブース

⑯サイン：適材適所に配慮した様々な意匠パターン（当社実績）

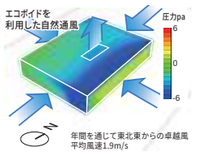
市民が主役の「やまぐち広場会議」

これからの庁舎・広場の活用にあたっては、職員だけでなく市民も参加し、一緒に考え、使いこなしていくことが重要です。「やまぐち広場」について市と一緒に日常的な活用を考え、運営していく集まりを広く市民、社会から募り、設計段階から一緒に考えていくことを提案します。

山口の風土を活かしたパッシブデザイン

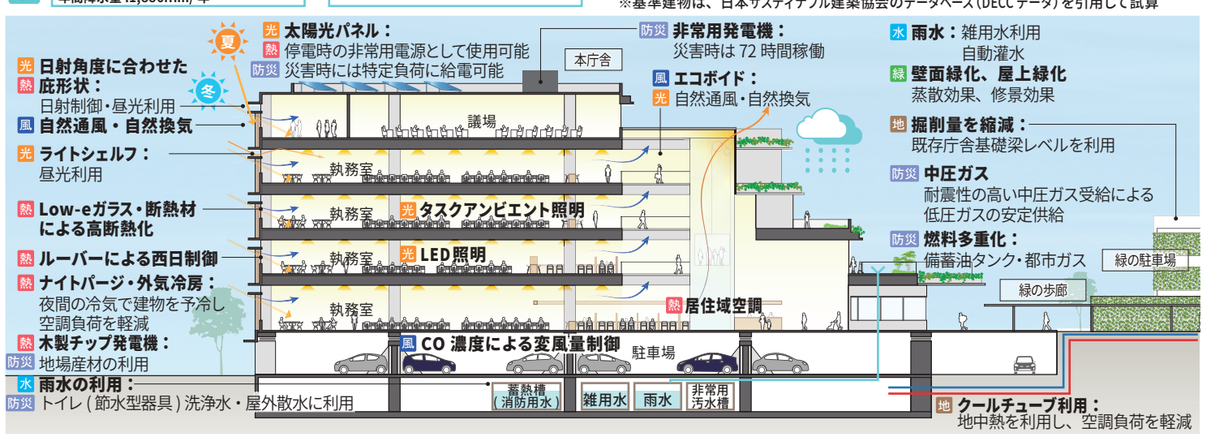
山口の季節風の特徴を考慮した自然通風計画

- 中間期には、エアコンに頼らずに屋外の心地良い環境を取込む自然通風を計画します。
- エコボイドを利用し、最上部で風を誘引する重力換気や、上下温度差による重力換気により、どの風向でも窓を開ければ心地いい屋外の風を建物内に取込みます。



気流シミュレーション

	山口市の気候特性	環境提案
光	日照時間が長い 年間日照時間 1,834 時間	日射遮蔽・太陽光発電
風	比較的穏やかな風速 年間平均風速 1.9m/s、卓越風は東北東	エコボイドによる効率的な通風 ハイブリッド換気
熱	夏と冬で寒暖差が大きい	冬期の日射熱取得、高気密・高断熱 ナイトパージ
水	降水量が多い 年間降水量 :1,886mm/ 年	雨水利用



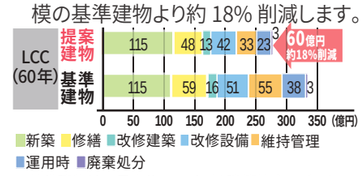
経済性に優れた庁舎

残土処分費の縮減

- 既存庁舎基礎梁レベルに立体駐車場を計画し、残土をやまぐち広場内で活用することで処分費を縮減します。

最先端省エネ技術導入によるライフサイクルコスト縮減

- 国土交通省等の補助金採択の豊富な経験を活かし、イニシャルコストの約 1～2億円の削減を目標とします。また、ランニングコストを基準建物より約 40%削減し、ライフサイクルコストを同規模の基準建物より約 18% 削減します。



維持管理コスト削減案
クラウドBEMS による光熱水費軽減
汚れにくく清掃し易いディテール
長寿命機材の積極採用
有資格者不要な取扱い容易な機器
汎用性・運転効率が高いトップランナー製品の採用

※基準建物は、日本サスティナブル建築協会のデータベース（DECC データ）を引用して試算